

3
月号

第338号

いっしん

平成25年(2013年)

神土地に
稲植えつけて
信心の
肥とすれば
徳とけなる

甘本親教会
初代親先生み歌

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://www7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki



矢野政美大人例年祭



青年会玉串奉奠



直会お弁当作り準備御用(前日)



典楽御用

加治木教会報徳祭

仕えられる

報徳祭は、九州開道の元であります小倉教会を中心とした九州地方の請願によって、明治二十七年十二月、こんこうしん(2009年5月)金光四神貫行君一年祭が御本部広前の靈祭として執行されたことに始まりです。

二代金光四神様はもとより、教祖様の奥様(二子大神様、第一世官長様、歴代金光様をはじめ先覚先師のご靈神様方は、それぞれの時代、社会にあつて「神と人あいよかけよで立ち行く」お道の御用に身命を捧げられました。そのご精神を、あらためて頂き直すお礼のご祭典です。

また、引き続き前の加治木教会長矢野政美親先生の例年祭が仕えられました。

信奉者一同で、準備の御用にあたり、御祭りをお仕え申し上げ、親神様、金光様、親教会歴代親先生、加治木前親先生の靈神様方に、ご安心いただけるよう、信心の向上を願いました。御用におかけを蒙らせていただきま

加治木教会 報徳祭…P 1
私の寒中一斉信行…P 4

共励会…P 2～3
お知らせ…P 5

教会行事…P 6

月例祭後の

共励会

二月二十二日

▼(教会長)今日は報徳祭(御大祭)の二日前で明日が御用奉仕で続きますので出席者が少ないですが、報徳祭二日前でもありますので「御用奉仕」というテーマで共励会をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

政美親先生が御用奉仕ということについてみ教えされていたことでも結構ですが思い出されることはございませんか。

▼(皇原)体を使っての御用と、経済での御用があり、御用はおかげを頂いて神様にお返しをすることと教えられてありました。

また、加治木教会だけの御用と思わないで、御本部のお広前と同じ気持ちでさせていただくことが大切だと思います。

金光清治先生(講話のDVDで拝聴)のお話にありましたが、御本部の



お広前のお掃除をされるときには、その延長に全教会の教会のお広前があり全教会のお広前と違って掃除をさせていただくと仰ってありました。ですから、私たちも御本部のお広前と違ってさせていただくことが大切だと思います。

▼(中村幸)神様はいつも私たちのことを見守られてあるので、少しでもご恩返しを忘れないで、御大祭前や月例祭前には少しでもおかげを蒙らせていただかねばと思いい御用させていただきます。だいています。

▼(永原)足の悪い方がゴザを敷いて草取りの御用をされるといいうお話を聞いた

ことがありますが、その人のできるころの御用を、その人その人によって工夫してさせていただくことが大切だと思います。

私も勤めているときには、台所のフキンを御用お供えさせていただ

こうと思いい取り組ませていただいたことがあります。

▼(教会長)そうですね、親教会でも雑巾や足ふきマットのようなものが、教会が広いためにたくさん必要ですから、信者さんで裁縫のできる方が縫い貯めて御用お供えをしてありますね。御本部の雑巾類もそのような真心でお供えがっているとのことでした。

▼(文枝)私の父は甘木親教会で、少年少女会のお世話役を長年させていただきました。全国大会の作品の習字を書くときはそのお手伝いをして、全国大会にはいつも一緒に参拝していました。

少年少女会のお世話の御用などがしよっちゅうでしたので、近所の人はいつも甘木、甘木と甘木行が多いねと言われるほどでした。

この頃「九十九才にならせてもらった…」と電話がきておりました。元氣におかけを蒙らせていただき、デーケアなどに行っては、いろんな人とお話をしたり歌を歌うなどして人気がある」ということでした。(今も毎月、甘木親教会発行の『しんあ

い』に短歌や俳句を自作して投稿させていただいています。名前は野口益三です。)

▼(教会長)政美親先生がお話しになられてあったことで私が覚えていますことは、小倉教会で家族で熱心に御用のおかげを頂かれる方があり、ある御大祭のときに家族で朝から夕方まで御用で忙しく過ごされ、その日の昼間に大雨が降って近所の家はどこも床上まで浸水して大変だったそうですが、御用が終わって家に帰ってみられると、不思議なことに浸水したようすがまったというお話しでした。

その信者さんが有難い思いで、教会へお礼にお参りされお話しされたところ、その御大祭に、御本部から佐藤範雄先生方が出でになられており、御本部の方までそのお話を持ち帰られお話しされたということです。

▼(永原)以前、政美親先生の頃、婦人会で加治木駅の座布団を準備して定期的に取り替える御用をされてあったことがあります。駅から表彰状も頂かれたことがあります。(今も

二階ホールに飾ってあります。)

▼(教会長)この頃の甘木親教会の報徳祭翌日、同釜会という出社(でやしろ)教会の先生方の会ですが、毎年一人の先生のお里で信心の勉強会があるのですが、今回は奈良県田原本教会に養子に入れ御用されてある森川道生先生のお里の、畑井光俊さん(森川先生の弟さん)という信者さんの家で開かれました。

そこでのお父様故畑井善一郎さん、総代の御用に当たられたは、いつも家族で田んぼに出て仕事をしていた



る途中でも時間になると「月例祭にお参りする」「御用にお参りする」と言っては、あとの仕事は奥さんと息子たちにまかせて機械や道具もそのまま置いてさっさと教会に行っていたそうです。しかし、ご家族はおかげを蒙っていることは知っておられたので家族のだれも文句は言われ

なかったそうです。

そのようにしておかげを蒙られ「今日の畑井家があります」と言われるほどです。

御用には、いろんな御用があり、また意味合いがありますね。(おわり)

◆◆◆ 共励会 余禄 ◆◆◆

「御用はおかげを頂いて神様にお返しをすること」でまちがいはありません。その「おかげ」中でも教祖様のみ教えに、

「…日に日に授かっているおかげは、案外知らないでいる。神のおかげは、生きているから死んだからではない、いつも受け通しである」

このおかげのことを甘木親教会初代親先生は、

「生まれる力も生きる力もない人間が、生かされ恵まれく苦労下さってある天地金乃神様の「ご恩」とみ教え下さってあります。その

「おかげ」や「ご恩」をシッカリ自覚して矢野クワ様のような真実な御用ができるようにならせていただきたいものです。(教会長)

お届けをさせていただきますと、毎回
一か月ほどご神前にお供えして御祈
念下さっております。

今年の「寒中一斉信行」は、一度
も欠けることなく表に〇が付く取り
組みができ「皆勤賞」だったので
が、実際に教会に参拝ができていま
せんで「皆勤賞」は頂けません。

少し残念な気がしていたのですが、
今年の「福引」で私が当たったのが、
特別賞の名城教会布教六十五年記念
「六十五番、秋の御本部参拝片道参
拝費用(約二万円)」だったので。

私の取り組みを知ってある信者友
達の方が、そっと「やっぱり神様は
見ておられるのね」と声をかけてく
れました。

神様からの「寒中一斉信行 皆勤
賞」であったのかなと思われ、あり
がたい気持ちでお礼申し上げていま
す。



あしあと

加治木教会行事記録

2月

- 1(金) ●報徳月例祭 10時半
- 3(日) 多良木教会報徳祭 11時
- 4(月) 甘木親教会 初代親先生立日
- 5(火) 〓(木) 教務センター会議(教会長)
- 9(土) 斎掃御用 10時
- 10(日) ●月例祭 10時半
- 12(火) 矢野政美大人立日 〓折念 10時
- 13(水) 〓(木) 全国大会会議(教会長)
- 17(日) 甘木親教会 報徳祭 11時
- ” 上荒田教会 報徳祭 11時
- 18(月) 甘木親教会「同金会」
- 21(木) 斎掃御用 10時
- 22(金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23(土) 御用奉仕
- 24(日) ●加治木教会 報徳祭 11時
- 28(木) 斎掃御用 10時

ご霊神様のお立日

三月 (敬称等略)

- 川畑ツネ之霊神(1日)昭和44年
- 中野サ子之霊神(1日)平成13年
- 永原スミ子之霊神(1日)平成20年
- 内村源二之霊神(3日)平成5年
- 信國幾雄之霊神(6日)昭和42年
- 大山定二之霊神(7日)昭和61年
- 松田セイ之霊神(8日)昭和18年
- 矢野クラ之霊神(13日)昭和31年
- 松田モト之霊神(15日)昭和62年
- 信國徹志之霊神(18日)昭和52年
- 前田広実之霊神(21日)昭和36年
- 吉屋茂樹之霊神(25日)平成4年
- 津上陸奥之霊神(29日)昭和53年
- 本中野金四郎之霊神(30日)昭和4年

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんして
お礼を申し上げます。
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の
奉てんを準備しています。

三月十七日(日) 十三時半
教祖百三十年記念連合会主催
地区集会 会場：鹿児島教会

三月二十日(祝)

春季霊祭 奉仕

※霊祭申込用紙をお結果にお届け下さい。

三月二十三日(土)・二十四日(日)

午後二時より 午前十時より
※二十三日は主に初心者
鹿児島教会にて

典楽会

会費・昼食費など 一〇〇〇円
琴・龍笛・笙・箏・太鼓

三月二十三日(土)・二十五日(月)

甘木親教会
少年少女会 **交歓会**
対象：新中一〜新高卒

三月三十日(土)・三十一日(日)

天地金乃神様

御本部御大祭参拝

出 発：七日午前八時
帰 着：八日午後十一時半頃
交通機関：...

四月一日(日)

月例祭に併せて
勸学祭 奉仕

健康な成長と学業成就の御礼と
お願いを申し上げます。

教会行事

..... 3月

- 1(金) ●報徳月例祭 10時半
- 3(日) (連南薩地区集会(加世田教会)：教会長
- 9(土) 斎掃御用 10時
- 10(日) ●月例祭 10時半
- 13(水) (連)実行委員会
- 17(日) 中部地区集会(於：鹿児島教会)
(教祖百三十年記念奉迎行事)
- 20(祝) ●春季霊祭 10時半
- 21(木) 斎掃御用 10時
- 22(金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23(土) 24(日)
典楽講習会(於：鹿児島教会)
- 24(日) 朝参拝日
" 吉屋家霊祭
- 23(土) 25(月)
甘木親教会 少年少女会「交歓会」
- 25(水) 27(金)
甘木親教会「教会子弟の集い」
- 30(土) 御本部御大祭参拝 出発
- 31(日) 御本部御大祭 当日 帰着
- " 斎掃御用 10時
- 《未定行事》
- ※若婦人会・青年会

..... 4月

- 1(月) ●月例祭(報徳) 10時半
" 併せて ◆勸学祭(少年少女会)
- 3(水) (甘木親教会月参拝日)：参拝は未定
- 9(火) 斎掃御用 10時
- 10(水) ●月例祭(生神金光) 10時半
(大神様)
- 11(木) 12(金)
(連)執行部会 10時半 志布志教会
- 13(土) 14(日)
- ◆甘木親教会 青年の集い
- 21(日) 大口教会御大祭
" 斎掃御用 10時
- 22(月) ●月例祭・共励会 13時半
- 25(木) 甘木親教会 御大祭 第①日
- 26(金) 甘木親教会 御大祭 第②日
- 28(日) 上荒田教会 御大祭
- 30(火) 斎掃御用

加治木教会 バンド練習会
〈毎週水曜 午後7時より〉
 今年六月十六日(日)加音ホール 小ホールで
 連合会教祖百三十年大会が開かれます。
 みんなで発表できるように練習しましょう。